オバマの新中東政策? -三つの同心円から読み解〈中東情勢-

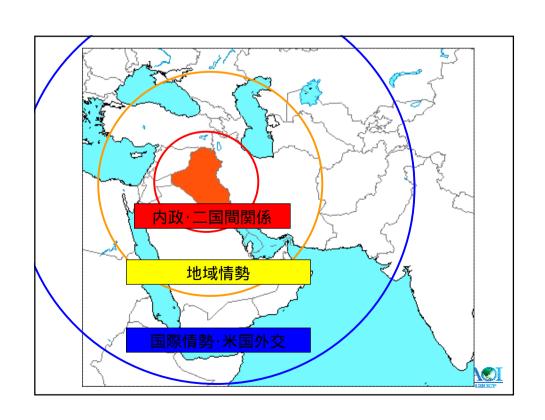




平成21年7月25日 同志社大学·公開講演会

外交政策研究所・宮家邦彦





「偽中東通」を見破る法:入門編

(誤)予言者モハメッド

(誤)旧訳聖書と新訳聖書

(正)預言者ムハンマッド

預言者(prophet)は神の言葉を預かる人間、 聖書に「予言」は殆どない

(正)旧約聖書と新約聖書

(全知全能の)神と契約(testament) を結ぶ (不完全な)人間

2009/07/25 23:15

A

米中東政策の神話

「パレスチナ問題がすべての根源だ」という人 中東和平が達成されても中東は安定しない?

「テロとの戦いは続く」という人

「自らとの戦い」に敗北しつつある米国?

「ユダヤ・ロビーが仕切っている」と嘆〈人

イスラエル首相に批判されるユダヤ系米国人

「攻撃されればイランは全面報復だ」という人

過大評価も過小評価も現実的ではない

「オバマの新しい中東政策」を評価する人

本当に「政策」は新しいのか?



オバマ外交の優先順位

Anything But Clinton からAnything But Bushへ

対テロ戦争と核兵器不拡散

重点はイラクからアフパック・イランへ

気候変動・エネルギー・環境・貧困問題

- Waxman-Markey法案で巻き返しを図る?

対欧州(ロシア)外交

危機感強め生き残りを賭ける欧州と協調

対中東外交

イスラエル重視は続〈、和平プロセスは停滞? 対話が失敗すれば、対イラン強硬策を模索も?

対アジア(中国)外交

多国間枠組みを模索する可能性あり

AOI-FPI ©2008



パレスチナ問題の起源

1897年 第一回シオニスト会議

1915年 フセイン・マクマーン書簡

1916年 サイクス・ピコ協定

1917年 バルフォア宣言

1919年 アラブ独立国家

1920年 英委任統治領化

1947年 国連総会分割決議

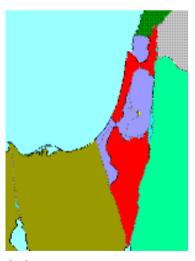
1948年 イスラエル独立

1956年 スエス 動乱(第二次)

1967年 六日戦争(第三次)

1973年 第4次中東戦争

1978年 キャンプ・デービッド (CDA) 合意





パレスチナ問題は根源か?

イスラエルの占領は正当化されない

一つのtheをめぐる国連決議の不毛な議論 1967年以前に戻ることは最早非現実的

本気で解決をしようとしたのはエジプトだけ

パレスチナのために戦ったエジプト パレスチナ人を追い出したヨルダン、レバ・シリ

もう一つの問題の根源はアラブの統治能力

自己の統治の正統性維持に利用した周辺諸国 真の問題は各国政権の正統性の欠如

「和平」が実現しても中東は安定しない

AOI-FPI ©2008



全てを変えた1979年·CDAの破綻

1978-79年のイスラム革命 ソ連のアフガン侵攻 米のムジャーヒディーン支援

1980年のイラン・イラク戦争 イラン・コントラ事件 対イラク支援政策

戦争終結とソ連崩壊

1990年のクウェート侵攻 湾岸戦争、アルカイダ誕生

二重封込政策とアメリカ湾

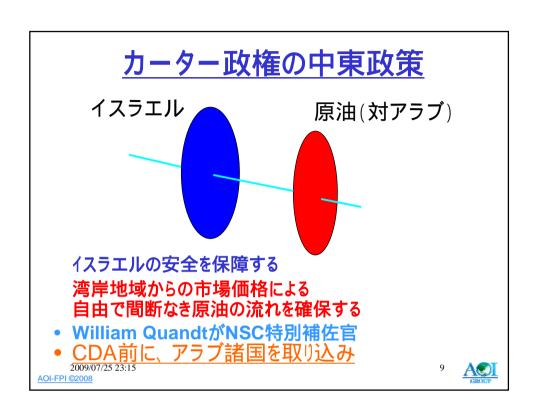
9/11と2003年のイラク戦争

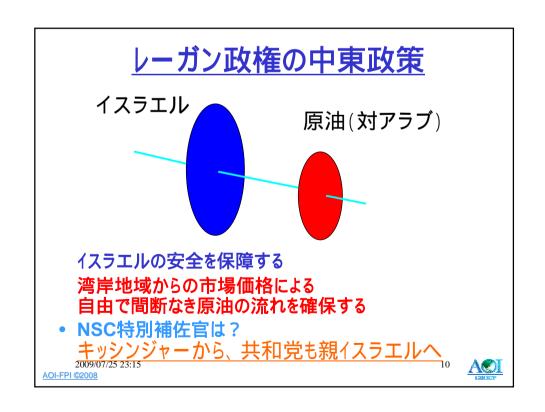
テロとの戦い・中東民主化・「ネオコン」の暗躍 イランの核開発は地域のパワーバランスを再び変える

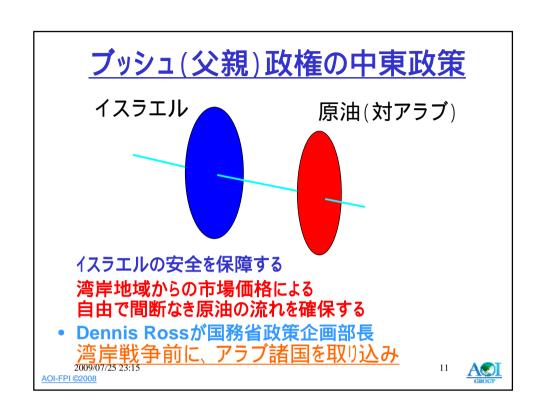
対イラン「軍事オプション」はあるのか?

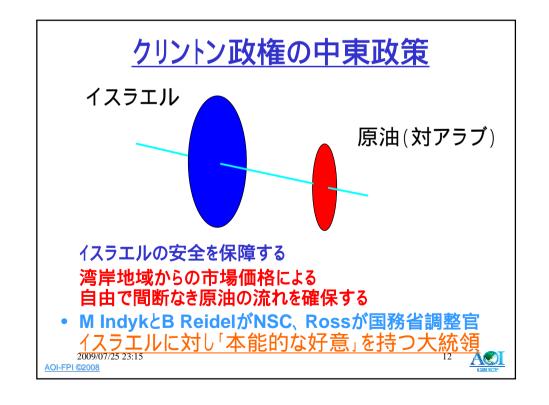


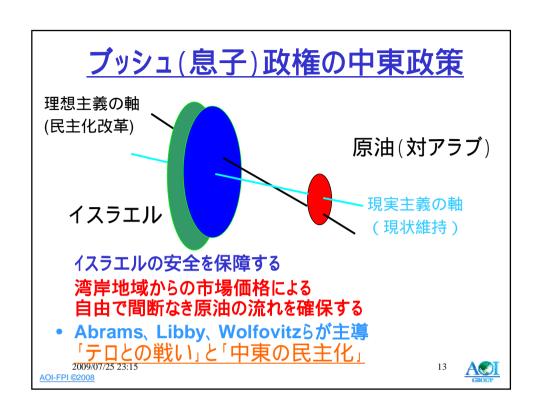


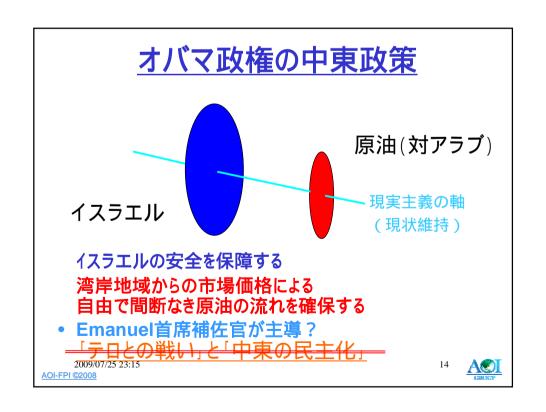


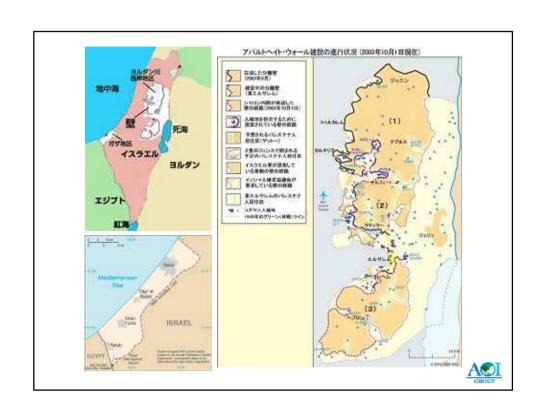














「オバマ」新提案?

入植地問題

イスラエルは入植住宅建設を即時凍結する

二国家解決案

イスラエルが撤退する「占領地」に、東エルサレム を首都とするパレスチナ国家を建国する

独自の軍隊はないが、連続した領土を確保する

パレスチナ難民の帰還権

現在の居住地における法的地位(市民権)を確保する他、補償金を支払う

1967 年第三次中東戦争で難民となったパレス チナ人(いわゆる67 年難民)の帰還は認めるが 1948 年難民の帰還は認めない

AOI-FPI ©2008



「オバマ」新提案?

エルサレム問題

最終的には双方間の交渉によって決定するが、旧市街・聖地などは国連の管理下に置く

タイム・テーブル

4年以内にパレスチナ国家を建国する

対シリア、レバノン関係

シリア・トラック、レバノン・トラック及びパレスチナ・トラックをそれぞれ個別に、かつ同時に進める

対アラブ関係正常化

パレスチナ国家建国の合意後、イスラエルとアラブ諸国の関係正常化に向けて調整する



ユダヤロビーが仕切っているのか?

大統領首席補佐官

イスラエルの首相にself-hating Jewと非難される ネオコンではなく、米民主党の主流中の主流

Jewish AmericanとAmerican Jewとイスラエル内政

米国の国益第一に考えるか

イスラエルの国益を第一に考えるか

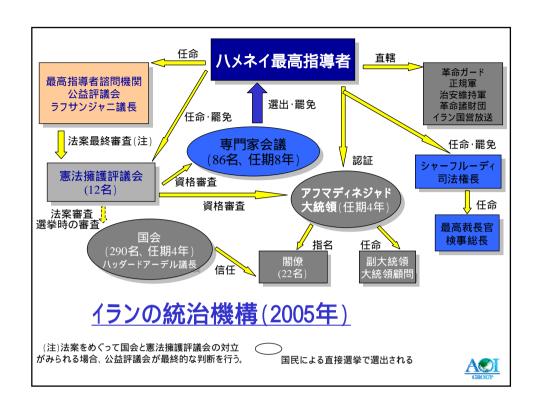
アラブ・アメリカンはどうしているのか

ユダヤ系とほぼ同時期に移民始めたアラブ なぜ影響力を持てないのか

アラブ諸国の統治能力欠如と同根?

AOI





<u>イラン大統領選挙(6月12日)</u>

アフマディネジャド現大統領・52

保守派(イスラム技術者集団)

ムサビ元首相・67

改革派(無所属)

レザイ元革命防衛隊司令官・54 保守派(無所属)

キャルビ元国会議長・71

改革派(戦)ウラマー集団)

争点:強硬外交と「ばらまき」経済だったはず

イスラム共和制そのものへの疑問なのか?













米国の対イラン政策(建前)

- We're deploying new approaches to the threat posed by Iran, and we're doing so with our eyes wide open and with no illusions. We know the imperative of preventing Iran from obtaining nuclear weapons. After years during which the United States basically sat on the sidelines, we are now a full partner in the P-5+1 talks.
- イランの脅威に対しては新たなアプローチをとるが、
- イランに幻想は抱いていない
- イランの核兵器保有を阻止するため、
- ・ 対イラン6カ国協議に全面的に参加する

(2009年4月22日下院外交委員会でのクリントン国務長官冒頭発言)



米国の対イラン政策(本音)

"But we are also laying the groundwork for the kind of very tough, I think you said, crippling sanctions that might be necessary in the event our offers are either rejected or the process is inconclusive or unsuccessful."

「我々の提案が拒否されたり、プロセスの結果 が出なかったり成功しなかった場合に必要と なるかもしれない非常に厳しい制裁の下準備 を始めている」

(2009年4月22日下院外交委員会でのクリントン国務長官質疑応答)

AOI-FPI ©2008



イスラエル空軍機のシリア攻撃

2007年

7月14日 攻撃計画を一時中止

9月6日 攻撃を実施

9月19日 六者協議が延期

9月27日 六者協議が開催

10月2日 イスラエルが発表

10月3日 六者協議で合意

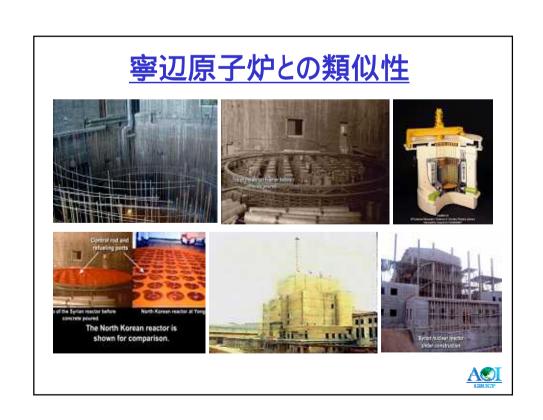
10月29日 シリアが確認

2008年

4月25日 米が詳細を発表







オバマ中東政策は新いいのか?

イスラムとの関係改善

3月トルコと6月エジプトでのオバマ大統領演説レトリックは見事だが、政策面では新味なし

サブスタンスはクリントン政権時代とほぼ同じ

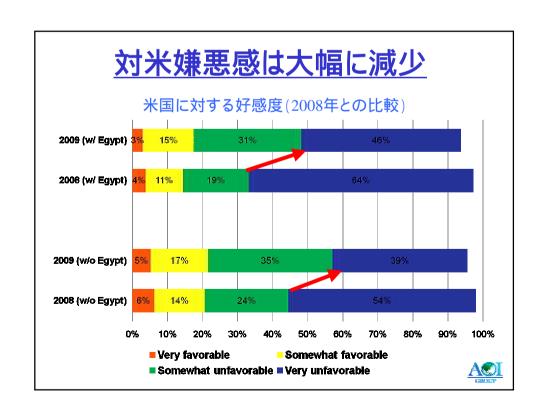
イスラエル、パレスチナとも内政は分裂 イランとの対話は目新しいが、実現は困難か アフ・パックという新たな火種を抱える

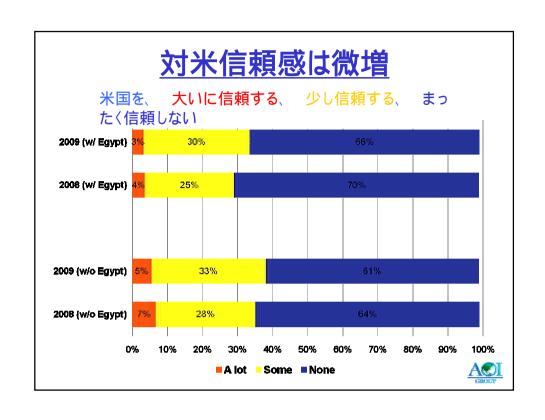
対中東政策はホワ仆ハウス主導

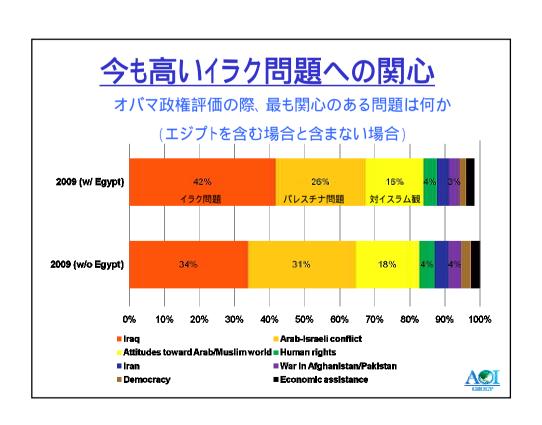
土地勘のない大統領と経験の乏いい国務長官

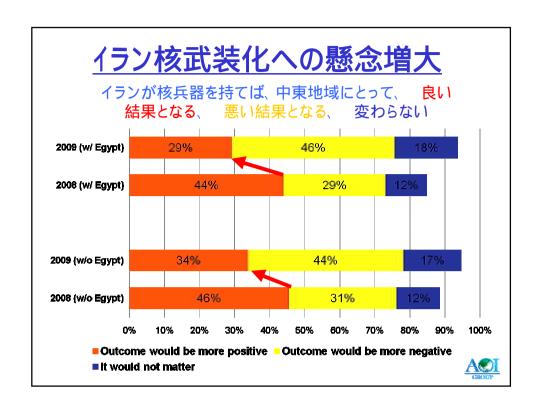
一期目は過去8年間の負債返済に集中か











米国と中東・アラブのギャップ

相互信頼

オバマは脱ブッシュへ、アラブは不信感残る

パレスチナ問題

オバマは新和平提案か、アラブは今も懐疑的

イラク問題

オバマは脱イラクへ、アラブは今も関心高い

対イラン問題

対話重視は対イラン譲歩ではない対話が失敗すれば、対イラン強硬策も模索

